

【第4章】教育文化の向上

1 幼児教育

施策の展開方向

- 小学校と幼稚園、保育所、認定こども園が連携して、義務教育就学前の子どもたちをともに育みます。^{*}
- 幼稚園への就園を奨励するために、園への運営支援をおこない教育の充実に努めます。また、保護者に対して経済的負担の軽減を図ります。
- 早期からの教育相談、支援体制の構築に努めます。
- 義務教育就学前の子どもたちの交通安全教育を推進します。

主要施策

- 1 幼保小連携の充実、強化
- 2 幼児教育から義務教育への円滑な移行の支援
- 3 幼稚園への就園の奨励
- 4 幼稚園児の保護者の負担軽減のための支援
- 5 幼稚園教育拡充のための支援
- 6 保健部門、福祉部門と連携した相談体制の構築
- 7 教育支援、相談体制づくり
- 8 教育支援委員会、相談会の活性化
- 9 新入学児対象の「交通安全フェスタ」や交通安全教室の開催

目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
1	幼保小連携の充実、強化	小学校と幼稚園、保育所、認定こども園 [*] との交流授業の実施
8	教育支援委員会、相談会の活性化	適切な時期における開催および情報提供

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、*マークは用語解説に説明あり。

2 学校教育

施策の展開方向

- 個を活かした、一人ひとりの能力を伸ばす教育を推進します。
- ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもを育む教育を推進します。
- 人権・生命の尊重などの学習をとおして人を思いやる心を育みます。
- 地域の信頼に応える学校づくりを目指します。
- 快適な教育環境の整備に努めます。



元気な子どもたち



ICT教育の促進



ふるさと教育（板金加工体験）



ふるさと教育（米づくり）

主要施策

- 1 学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成
- 2 教職員の資質の向上と指導力強化による学力の向上
- 3 各種支援員、相談員、外部講師等の活用
- 4 小中連携の推進と小学校から中学校へと続く義務教育の「学びの連続性」を考慮した効果的な指導の確立
- 5 学校図書館の充実と利活用の促進
- 6 各学校の歴史、環境、特色を生かした「ふるさと教育」の推進、拡充
- 7 ふれあい活動等福祉教育の推進およびボランティア精神を育成する体験活動の充実
- 8 健全な食生活を高める食育および地産地消※の推進
- 9 開かれた学校づくりの推進と学校評議員、学校運営協議会の活用
- 10 適正な学校規模に関する継続的な議論の実施
- 11 ICT（情報通信技術）※利活用教育の促進
- 12 学校の教育備品の拡充と適正な配備
- 13 学校施設の計画的な大規模改造事業の実施

目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

（目標値年度は平成32年度）

	施策名	目標・指標等
1	学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成	「未来にはばたく子供育成事業」への参加者数の増 H26年度200人→H32年度250人
2	教職員の資質の向上と指導力強化による学力の向上	学力向上サポーターの活用
3	各種支援員、相談員、外部講師等の活用	教職員の補助人材の確保、適正な配置 特別支援教育支援員、学校生活支援員の全小中学校への配置
6	各学校の歴史、環境、特色を生かした「ふるさと教育」の推進、拡充	ふるさと人材育成支援基金を活用した地域学習の継続と発表の場の提供
11	ICT（情報通信技術）※利活用教育の促進	タブレット端末の導入 H32年度までに全小中学校に整備
13	学校施設の計画的な大規模改造事業の実施	空調設備の導入 H32年度までに全小中学校に整備

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

3 社会教育

施策の展開方向

- 市民の誰もが、“いつでも” “どこでも” “何でも” 学べる環境の整備と機会の提供を行い、生涯学習の振興に努めます。
- 社会教育関係団体と連携し、リーダーやボランティアの育成、青少年の健全育成に努めます。
- 地域コミュニティ活動や市民主体の組織活動を支援し、世代を超えた交流活動を通じ、“地域の絆づくり” を推進します。
- 人権・同和問題に関する教育と啓発の推進に努め、市民生活に人権尊重の意識を根付かせます。

主要施策

- 1 生涯学習センター・市民図書館を拠点とした、市民主体、市民主導による生涯学習の展開
- 2 社会教育関係団体との連携の強化
- 3 幼児から高齢者まで全ての世代を対象にした生涯学習の機会づくり
- 4 まちづくり出前講座※や高齢者教室など学習機会の提供
- 5 ジュニアリーダー※やボランティア等の育成
- 6 子どもたちの自主性、協調性の育成および青少年の健全育成
- 7 地域ぐるみで行う世代間交流の推進
- 8 公民館活動の活性化、市民交流プラザ「かたらい」※の活用
- 9 図書館の利用促進および読書習慣の定着のための事業展開
- 10 郷土資料の収集、保存と利活用の推進
- 11 人権・同和問題に関する教育・啓発活動の推進
 - ①学校、地域社会、企業・事業所における人権・同和問題教育、啓発の推進
 - ②同和問題啓発強調月間など啓発事業の充実
 - ③鹿島市人権・同和对策基本計画の策定による教育・啓発の推進

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

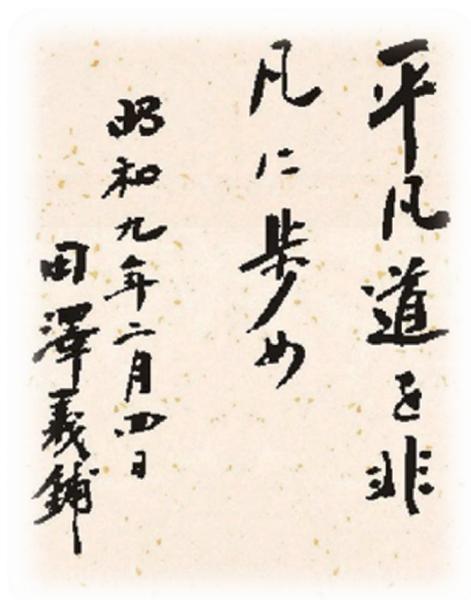
目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
1	生涯学習センター・市民図書館を拠点とした、市民主体、市民主導による生涯学習の展開	エイブル倶楽部会員 1,000人
7	地域ぐるみで行う世代間交流の推進	親子季節ふれあい教室の開催
9	図書館の利用促進および読書習慣の定着のための事業展開	市民1人当たりの貸出冊数 H26年度9.29冊→H32年度9.80冊
11	人権・同和問題に関する教育・啓発活動の推進 ③鹿島市人権・同和対策基本計画の策定による教育・啓発の推進	鹿島市人権・同和対策基本計画の策定 平成28年度策定



ヒカルの碁



青年団の父 田澤義鋪先生の書



ゆめさが大学

4 文化

施策の展開方向

- 歴史資料、伝統文化、民俗芸能、伝統行事等を後世に継承すると同時に、学校教育や社会教育の場に活用し、市民の郷土文化への理解を深めます。
- より多くの市民が、芸術や文化に親しみ、接するために、学習機会の拡充に努めます。
- まちのシンボルとして新しい市民会館を整備推進し、多彩な文化芸術活動の創造・発信、多様な市民交流の拠点づくりに取り組みます。

主要施策

- 1 学校教育や社会教育の場での歴史や文化の普及、啓発
- 2 歴史的資料の発掘、調査と指定文化財※の指定
- 3 指定文化財※をはじめ歴史的文献や歴史的遺構、建造物の維持、補修
- 4 歴史的町並みや景観の保全と活用
- 5 地域の民俗芸能や祭礼行事、伝統工芸などの保存継承の支援
- 6 芸術や文化に関する講演会、展示会、講座の開催と普及
- 7 新しい市民会館の整備による生涯学習施設（エイブル）と連動した市民文化交流の場の提供

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
2	歴史的資料の発掘、調査と指定文化財※の指定	郷土資料の再検証
3	指定文化財※をはじめ歴史的文献や歴史的遺構、建造物の維持、補修	鹿島城大手門の修理
7	新しい市民会館の整備による生涯学習施設(エイブル)と連動した市民文化交流の場の提供	新しい市民会館の整備 平成31年度完了目標



面浮立



鹿島城赤門

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

5 スポーツ

施策の展開方向

- 市民が安心してスポーツをすることができる環境の整備とスポーツ施設の積極的利用を促進し、スポーツ人口の拡大を図ります。
- 生涯スポーツの指導者育成とスポーツ機会の提供を増やし、心身の健康保持、増進を図ります。
- スポーツ施設の有効的利活用による交流人口の増加を図ります。

主要施策

- 1 スポーツ施設の維持・管理台帳の整備
- 2 予約管理システムを活用したスポーツ施設の利用
- 3 市民体育大会などスポーツイベントの活性化
- 4 総合型地域スポーツクラブ※「スポーツライフ・鹿島」の育成、支援
- 5 スポーツイベントの誘致およびスポーツ合宿※の推進



鹿島祐徳ロードレース大会

目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
1	スポーツ施設の維持・管理台帳の整備	陸上競技場のトラック、クロカンコース、市民体育館の補修
5	スポーツイベントの誘致およびスポーツ合宿※の推進	イベント・合宿誘致団体のべ35団体

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。